

令和2年4月9日

文部科学大臣 萩生田光一 殿

全国連合小学校長会長 喜名 朝博

令和2年度全国学力・学習状況調査に関わる要望

新型コロナウイルス感染拡大により、3月より全国のほとんどの学校が臨時休業となる中、3月17日に文部科学大臣より、令和2年度の全国学力・学習状況調査は、予定していた4月16日の実施を延期する旨の公表がありました。令和元年度の教育課程上未学習の内容があることや、令和2年度の教育活動の見通しがもてない状況にあつて、4月16日にかかる調査を実施することは困難であり、学校の実情をご理解いただいた上での調査延期のご判断でした。

しかしながら、新年度に入り授業が再開した学校がある一方で、4月7日の緊急事態宣言によっても臨時休校が継続する学校が約4割もあり、学校ごとの学習内容等の履修状況にばらつきが生じています。

この先の新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せない状況下においては、新学習指導要領全面実施の令和2年度の教育課程には、様々な影響があることが予想されます。

令和2年度は、新しい教育課程の出発として、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善が最も重要な事項と理解しており、全国各学校の重要課題として取り組む所存です。そのために当該年度は、落ち着いて授業改善に焦点化された環境での教育活動が必須であります。

また、調査の日程は、優先事項として教育課程上に位置付けなければならない関係上、延期となると改めて全国的な日程調整が必要となり、秋以降に延期しての実施では授業改善に生かすことができません。

以上のことを勘案して、全国連合小学校長会といたしましては、調査の延期ではなく令和2年度における学力学習状況調査の中止を強く要望いたします。